



人権教育研究主題
生き生きと学び、進んで表現し合い、人権を尊重する子どもの育成

学校の課題

- ・話をしっかり聞き、自分の考えを伝える力をつける。
- ・場に応じた挨拶や言葉遣い、身の回りの整頓など基本的な生活習慣を育成する。
- ・一人ひとりを大切にする人権教育の推進のため、児童の学力向上のため、仲間づくり、集団作りを進める
- ・発達段階に応じて人権学習を積み重ねていく。

学年重点目標

たんぼぼ・ひまわり学級 友達とともに活動することの喜びを味わい、仲良くしていこうとする気持ちや態度を養う。

第1学年 友だちを仲間はずしにしないで、みんなが仲良く仲間を大切にする生活態度を養う。

第2学年 相手の立場を考え、みんなで助け合って楽しい学級づくりをする態度を養う。

第3学年 友だちを差別しないで、互いに認め合い、協力して生活する態度を養う。

第4学年 身の回りの差別や偏見に気づき、友達同志認め合い、差別をしない態度を育てる。

第5学年 人権に対する理解と差別に対する認識を深め、差別をしない、させない、許さない態度を養う。

第6学年 部落差別の不合理や矛盾に気づき、部落差別を解消し、人権を守って生活しようとする態度を養う。

各教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動	家庭との連携
国語・読むこと、書くこと、話すこと、聞くことの基礎学力を身につけ伝える力を高める。思考力や想像力、豊かな心を育てる。 社会・学校や地域の中から自分たちの課題を見つけ、科学的合理的なものの見方や考え方を身につける。 算数・見通しをもち、筋道を立てて解決しようとする論理的思考力を身につける。 理科・自然を愛する心情を育てるとともに科学的な見方や考え方を養う。 生活・主体的に生活や学習に取り組む意欲を育て、豊かな感性や確かなものの見方、考え方ができる力を養う。 音楽・豊かな感性や情操を育てる。 図工・自分の願いや思いを表現する喜びを味わうことにより豊かな心や感性を育てる。 家庭・家庭や社会の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。	生命の尊さを感じ取り、自他の生命を大切にすることを育てる。だれに対しても公正・公平に接し、協力しようとする態度を養う。	生き生きと学び、進んで表現し合い、人権を尊重する子どもの育成	望ましい人間関係を形成し、集団の一員として自主的、実践的な態度を育てる。	学校だより・学年だより・保健だより・人権部だより・人権発表会・授業参観
		外国語活動 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。異文化にふれ、多様なものの見方や考え方があることを理解する。	学校行事 集団への所属刊や連帯感を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度を育てる。	保・幼・中・高・地域との連携 地域の方々との交流・支援学校との交流・人権学習の授業参観・校種間交流会（研究授業）・解放文化展・子ども人権ふれあい活動